

編集後記

この1年間理学部広報の編集長を務めていましたが、実際の仕事はほとんど庶務掛におんぶしてやって頂いていると言うのが実情です。我々の乏しい人的資源とファンドでどこまでの広報活動が出来るかと言うこととなりますが、理学部広報は学部内部の人間をターゲットにして、情報交換や人的交流を図るため最小限の機能は果たせているのではないかと考えています。現在東京大学全体の新しい対外的広報誌を発行する事が議論されていますが、色々な形の広報活動がこれまでよりもっと必要な時代になってきているのは確かな様です。

理学部広報の内容は、退官教官の挨拶、新任教官の紹介、様々な研究活動の紹介などが中心になりますが、なかでも最も多く読まれる記事はやはり退官される教官、

職員に関するものだと思います。長く理学部に務められた方々の思い出が詰まった文章には感慨に打たれる方が多いのではないのでしょうか。また、ここ2～3年は理学部広報に載る研究紹介の記事が少し長めになり面白い読み物になって来ているのではないかとも思います。

今後も理学部広報はこうした最も基本的な情報交換の場を提供できれば良いのではないかと考えています。この場を借りてお忙しい中、理学部広報に寄稿して下さった方々、また編集の実務をほとんど全て引き受けて下さった庶務の皆さんに感謝の気持ちを表したいと思います。

江口 徹 (物理学専攻)
eguchi@hep-th.phys.s.u.tokyo.ac.jp

